

2021年11月10日
日本化学工業株式会社

量子ドット用リン原料の設備増設について

日本化学工業株式会社は、量子ドットディスプレイに用いる量子ドット用リン原料の需要拡大に対応するため、福島第二工場（福島県田村郡）において設備を増設することにいたしました。増設工事は、2021年度に着工し、2022年度下期の稼働を目指してまいります。

◆量子ドット用リン原料の設備増設の背景

現在、当社は中期経営計画方針でもあります「成長戦略の推進と成果の実現」に向け、成長事業の拡大、グローバル化の推進、経営基盤の強化に取り組んでおります。その中で、需要拡大が見込まれる量子ドット市場へのリン原料の安定供給体制を強固なものにするべく、福島第二工場におけるホスフィン誘導体設備の増強を決定いたしました。

量子ドットとは、直径が10nm程度の半導体粒子を指し、主にカドミウム(Cd)系やインジウム(In)系の材料が用いられます。量子ドットは粒径に依存した発光特性を持ち、高輝度で高精度な色彩を実現できることから、ディスプレイ等に応用されています。量子ドットを用いたディスプレイ市場は急速に広がりを見せており、韓国大手企業の大規模設備投資により2022年以降は需要の更なる拡大が期待されています。

今回増設を決定した量子ドット用リン原料はホスフィン誘導体の一種であり、カドミウム(Cd)系・インジウム(In)系のどちらの材料にも使用されております。当社は世界で数社しかいない高純度ホスフィンの製造会社として、30年以上にわたりホスフィン誘導体を製造してきた実績があり、市場ニーズの変化が速まる中、高度な合成技術で最適なリン原料をいち早く市場へ提供してまいりました。当社は引き続き、量子ドット用リン原料の安定供給を通じて量子ドットディスプレイ業界の発展に貢献するとともに、環境に配慮した市場の開拓を進め、持続可能な社会の実現を目指します。

◆増設計画の概要

- (1)工場立地：福島県田村郡（日本化学工業株式会社 福島第二工場内）
- (2)稼働開始：2022年下期中 予定
- (3)投資額：約8億円

以上

【本件に関するお問い合わせ】

日本化学工業株式会社 IR広報 TEL 03-3636-8060